

II. 一般社団法人 日本工作機械工業会の活動

1. 概 要

(1) 定時総会

2021年5月28日(金)、東京都千代田区・ホテルニューオータニに於いて、ハイブリット形式(会場開催及びオンライン開催の併用)で第10回定時総会を開催し、会員108社中105社(書面または代理人による議決の決議の行使を含む)が出席した。同総会では、飯村会長が議長となり、2020年度収支決算、2021年度会費負担、役員選任について審議を行い、原案通り決議された。また、2020年度事業報告、2021年度事業計画、同年度収支予算についても報告があった。

(2) 理 事 会

当会の事業執行機関である理事会は、理事会運営の原則に基づき、5月に決算理事会(書面審議)、7月(オンライン)、9月(オンライン)、11月に定例理事会、3月に予算理事会(オンライン)を開催し、事業報告及び収支予算案、決算報告を始め、令和4年度税制改正要望、2022年度(公財)JKA補助事業要望等について審議した。更に、定時総会当日には総会に引き続いて第55回理事会を開催(オンライン)し、定款第13条に基づき、会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定を行ったほか、委員会構成について審議した。

(3) 委員会・研究会

各事業の遂行については、総合企画、技術、経営、市場調査、国際、環境安全、見本市、輸出管理の8常設委員会及び人材確保・周知研究会、加工システム研究開発機構が、それぞれ所管する事業を以下の通り実施した。

① 総合企画委員会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、創立70周年記念式典及び記念祝賀会の開催延期について審議し、2022年3月18日に記念式典を開催し記念祝賀会の開催を見合わせる決定をした。また、70周年記念誌について編纂業務を行った。

② 技術委員会

研究開発部会、標準化部会が中心となり、「三次元積層造形技術(Additive Manufacturing)に関する調査研究」、「工作機械業界の知的財産動向に関する調査研究」、「工作機械の試験・検査、安全、環境評価、ソフトウェアに関する国際標準化」への対応等、工作機械の技術振興に関する調査研究を幅広く実施した。また、米国のPBT5物質規制や、カナダの環境保護法改正等、海外の化学物質規制に対する対応も随時実施した。

③ 経営委員会

経営調査部会、税制部会、労務研究部会が中心となり、①工作機械の各種経営指標について分析した「工作機械経営状況調査」、「工作機械収益状況集計」の作成・公表、②2022（令和4）年度税制改正要望書（案）の取りまとめ、③「改正『高年齢者雇用安定法』施行に伴う取組」、「コロナ禍での採用活動、労務環境」についてのアンケートを実施及び「女性活躍」に関する講演を拝聴した。

また、「特定技能外国人材制度の見直し」について要望書を作成して当局へ提出した。

④ 市場調査委員会

政策部会、市場部会、サービス部会が中心となり、工作機械の需要動向に関する調査分析のほか、政府予算措置等に関する要望を取りまとめ、「適正な下請取引の推進と取引先の生産性・付加価値向上を支援するための自主行動計画」について年次フォローアップ調査を行った。市場関連では国内市場の動向や潜在需要等に関する調査、受注統計の運用等について検討した。サービス関連では営業及びサービス活動における安全対策、事業への影響等に関する情報交換を行った。

⑤ 国際委員会

「中国における工作機械の需要産業」及び「世界のEV動向」をテーマに、専門家による講演主体の調査研究を実施したほか、新型コロナウイルスが国際物流に与えた影響やEUの気候変動政策に関するオンラインセミナーを開催した。また、「地域的な包括的経済連携（RCEP）協定」における中韓側の工作機械の関税譲許表を調べ、委員会内で情報共有した。

⑥ 環境安全委員会

「工作機械産業の環境自主行動計画」の目標達成に向け、環境活動マニュアルのデータベース化及び環境活動状況問診票調査の実施を通じて、会員の環境活動の支援を行った。また、カーボンニュートラルに関連する取り組みとして、工作機械のLCAガイドライン策定及び関連情報の提供に努めた。

⑦ 見本市委員会

JIMTOF・Tokyo 2022開催に向けて、日工会会員を対象とした出展申込基準の確認、出展申込受付、申込小間数の調整等に当たった。また、企画部会では企画展示や講演会について幅広く検討した。

⑧ 輸出管理委員会

経済産業省と連携し、工作機械の適正な輸出管理を推進したほか、業界各社の輸出管理に対する支援業務を行った。また、工作機械輸出管理初学者対象の「工作機械の輸出管理講習会」、及び工作機械輸出管理実務者対象の「工作機械の輸出管理研修会」、海外事業者対象の「JMTBA Seminar on Export Controls for Japanese Machine Tools」をオンラインで開

催した。更に経済産業省に要望書を提出し、輸出管理に関する通達改正を実現した。

⑨ 人材確保・周知研究会

工作機械トップセミナーや工作機械基礎講座の企画・立案を行い、所要の事業を積極的に実施し、学生に対する業界PRや若手エンジニアの育成に努めた。今年度の工作機械トップセミナーは、メカトロテックジャパン2021に併せオンラインで開催し、全国の大学、高専から80校、398名の参加者を得た。また、工作機械基礎講座を9月、1月の2回オンラインで開催し、合計83名が受講した。

⑩ 加工システム研究開発機構

産学連携による「先端技術開発の強化」、「標準化の推進」、「国際技術交流の促進」を柱に、「工作精度試験方法通則の国際標準化」及び「若手研究者・技術者による国際交流プログラム」事業について実施した。

(4) そ の 他

① 委託事業

- (イ) JIS原案作成事業（(一財)日本規格協会）
- (ロ) 国際幹事等国際会議派遣事業（株三菱総合研究所）

② 補助事業

- (イ) 工作機械の輸出管理講習会の開催（(公財)JKA）
- (ロ) 工作機械トップセミナーの開催（(公財)JKA）

③ 国際交流

新型コロナウイルス感染症の拡大により、海外展示会への役職員派遣を見合わせた。

④ 広報活動

月例記者会見を実施したほか、下記出版物の発行、メールマガジンの配信等、広報活動に努めた。

- (イ) 機関誌「工作機械」
- (ロ) マシンツールワールド
- (ハ) 日本の工作機械産業（和・英）
- (ニ) 工作機械統計要覧
- (ホ) 第4回工作機械検定の実施
- (ヘ) その他出版物

⑤ 会員相互の親睦強化

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、例年開催の定時総会懇親パーティ、会員懇談会、会員交流会、野球大会は開催を見合わせた。一方、新年賀詞交歓会については、コロナ対応に万全を期し、飲食を伴わない形で開催した。

なお、ゴルフ会についても、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、下記の通りの開催となった。

日工会ゴルフ会

2021年11月19日(金) 第350回記念大会

静岡県/ファイブハンドレッドクラブ

⑥ 税制・補助金に関する証明書発行業務

中小企業等経営強化法の経営力向上設備及び先端設備等に係る生産性向上要件証明書発行業務を行った。